


株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、予め公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 JASDAQ市場

※ 平成25年7月16日より株式会社東京証券取引所JASDAQ市場に変更となります。

・株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

第33期 決算報告

BUSINESS REPORT

平成24年4月1日～平成25年3月31日

証券コード：6890

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4

日本橋プラザビル

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FerroTec

株式会社 フェローテック

“生産技術の蓄積”で 復活から飛躍をめざす

想定外の市場の変化に対応するために実行した「事業構造改革」が、実を結びつつあります。今回は社長の山村章がこれまでの歩みを振り返り、フェローテックの強みの源泉や復活に向けた思いを語りました。

代表取締役社長 **山村 章**



NASA(米航空宇宙局)の技術を日本へ

米国で技術の種を育て、日本で生産技術確立し、中国で量産化を進め、世界市場を開拓する——フェローテックはそんなトランスナショナルカンパニーをめざしてきました。

前身となる米国企業の日本法人が設立されたのは1980年9月。NASA(米航空宇宙局)の依頼で開発された磁性流体と応用製品の日本販売が私に託され、音響機器メーカーのスピーカーをはじめ、半導体製造装置などの気密性が要求される真空シールが採用されました。

広げるには、もっと高い品質が求められる——1987年には親会社から独立して製造工場を立ち上げ、コンピュータの記憶装置(HDD)向けのコンピュータシールをはじめ、異物を嫌う半導体やFPDの製造装置、LED関連など装置関連事業

を確立しました。

2つのコア技術と第3の柱

フェローテックをさかのぼると2つの源流にたどり着きます。1つはサーモモジュール、もう1つは磁性流体です。事業としては磁性流体が先に立ち上がりました。

サーモモジュールは、私がこの製品を扱っていた米国企業にいた頃、コスト高に苦しんでいて大量生産ができず、大きな市場を獲得できなかったことから、いつしかサーモモジュールを中国で生産できないかと考えるようになりました。

その夢が実現したのは1992年。中国杭州市でサーモモジュールの組み立てが始まり、サーモモジュールは高級自動車の温調シートをはじめバイオ関連、光通信システムへと広がり、電子デ

バイス事業の中核を占めるようになりました。

2000年に入り太陽光発電が拡大する前から、当社は、すでにシリコン結晶引上とウエーハ製造を開始していました。自然エネルギーへの期待が高まりかけていました。太陽電池に踏み出すチャンスが巡ってきたのです。

シリコン結晶製造装置、太陽電池用シリコンの製造、シリコン製造に伴う消耗品群へと太陽電池関連事業は急拡大し、やがて3本目の柱に育ちました。

ところが、欧州における財政危機が襲い、急激な過剰設備投資によって、太陽電池市場は破壊されました。

ただし、太陽光発電そのものは、いまま静かに成長を続けています。

回復、そして飛躍へ

フェローテックは、これからも全社で培ってきた、“技術力、生産力、販売力”をさらに発展させていく努力を続けます。

いま、私どもは磁性流体やサーモモジュールなどのベース技術を水平展開するとともに、半導体デバイスの微細化、スマートフォン、有機EL、LED関係など成長分野で新素材開発を進めています。また、装置関連事業で蒸着装置やエレクト

ロン・ビームガンを手掛け、電子デバイス事業でパワー半導体向けDCB基板の開発を終えています。

太陽電池関連ではリスクを最小限にとどめるため、国内外大手メーカーへのOEM製造に注力し、受注も着実に積み上がっています。シリコン製造設備の稼働率は、今期に入って最盛期の7~8割まで回復。その後の受注でフル操業も見えてきました。

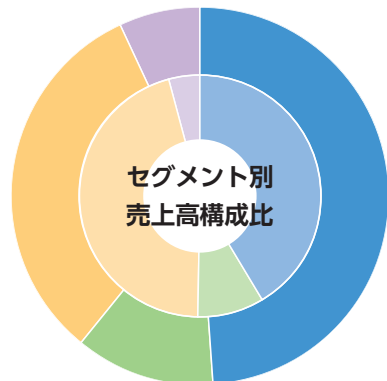
株主・投資家の皆さまへ

日本国内では企業の工場遊休地などに太陽光パネルを設置する動きが加速しています。当社も千葉工場で太陽光パネルを設置し、実体験しつつ次の飛躍の機会をうかがっています。また、この機会に技術開発を進め、太陽電池のエネルギー交換効率の向上に努めています。

今期は順調な滑り出しでスタートしました。当社グループは、これまで育て上げた生産技術を活かし、さまざまな市場に製品を供給できる骨太の体質になりつつあります。

株主・投資家の皆さまのご期待に沿うよう、さらなる発展に向かって努力してまいります。

平成25年6月



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3事業を報告セグメントとしております。

	前期(内周) 平成24年3月期	当期(外周) 平成25年3月期
装置関連事業	41.4%	49.1%
電子デバイス事業	8.9%	11.9%
太陽電池関連事業	45.5%	32.1%
その他	4.2%	6.9%

装置関連事業

売上高 **188億円** 営業利益 **1億円**

製造プロセスに使用される石英製品、セラミックス製品は、スマートフォン用途に需要が見られたものの、PC用メモリの販売不振から低迷しました。真空シールは、半導体・FPD・LED等の設備投資需要が引き続き低調だったため、軟調に推移しました。シリコンウエーハ加工は、小口径ウエーハの需要により底堅く推移しました。



セラミックス製品



真空シール

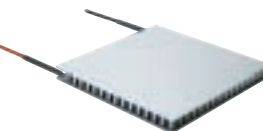
電子デバイス事業

売上高 **45億円** 営業利益 **2億円**

サーモジュールは、欧州における財政危機の影響で自動車販売が減少したものの、その後回復基調に転じ、自動車温調シートが搭載される高級車も急回復しました。民生機器に使用されるサーモジュールは、個人消費の伸び悩みで前年を下回ったものの、検査装置、バイオ関連機器が総じて底堅く推移し、ほぼ計画どおりとなりました。



磁性流体



サーモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **123億円** 営業利益 **△39億円**

太陽電池は欧州市場に代わり、中国・日本・米国市場への導入が進み、前年度並みの導入量となりました。ただ、パネル価格の下落により、欧州企業や中国企業で赤字に転落する企業が続出しています。当社はシリコン結晶製造装置等の販売を停止し、事業構造改革により損失処理を実施したほか、研磨装置やガラス加工装置などにシフトしました。



単結晶引上装置
(リチャージ機能タイプ)



石英坩堝

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成25年3月31日現在	前期 平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	34,271	41,330
固定資産	32,072	31,241
有形固定資産	24,914	25,397
無形固定資産	1,683	2,368
投資その他の資産	5,473	3,475
資産合計	66,343	72,571
負債の部		
流動負債	27,243	29,592
固定負債	8,660	8,792
負債合計	35,904	38,384
純資産の部		
株主資本	29,366	36,311
その他の包括利益累計額	399	△2,923
少数株主持分	673	799
純資産合計	30,439	34,186
負債純資産合計	66,343	72,571

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益(△は損失)	△6,750	1,756
その他の包括利益	3,380	△221
その他有価証券評価差額金	112	2
為替換算調整勘定	3,232	△214
持分法適用会社に対する持分相当額	36	△9
包括利益	△3,369	1,534
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,209	1,493
少数株主に係る包括利益	△159	41

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	38,424	60,088
売上原価	31,448	43,564
売上総利益	6,976	16,523
販売費及び一般管理費	10,584	12,399
営業利益(△は損失)	△3,608	4,124
営業外収益	1,155	414
営業外費用	1,012	1,251
経常利益(△は損失)	△3,465	3,287
特別利益	1,637	133
特別損失	4,330	606
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△6,158	2,814
法人税等	591	1,058
少数株主損益調整前当期純利益(△は損失)	△6,750	1,756
少数株主利益(△は損失)	△217	41
当期純利益(△は損失)	△6,532	1,715

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,584	642
投資活動による キャッシュ・フロー	△401	△8,492
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,991	10,098
現金及び現金同等物に係る 換算差額	620	1
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,187	2,249
現金及び現金同等物の 期首残高	9,560	7,310
現金及び現金同等物の 期末残高	7,373	9,560

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	30,903,702株
株主数	22,874名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山村 章	811,300	2.63
野村信託銀行株式会社(投信口)	650,000	2.11
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	464,958	1.50
大阪証券金融株式会社	439,100	1.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.36
三井造船株式会社	410,000	1.33
株式会社SBI証券	409,600	1.32
三井住友信託銀行株式会社	400,000	1.29
松井証券株式会社	362,000	1.17
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	338,810	1.09

(注)持株比率は自己株式(93,424株)を控除して計算し、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



株式数 **30,810,278株**

個人その他	21,942,020株	71.21%
外国法人等	2,098,011株	6.80%
その他法人	1,264,600株	4.10%
証券会社	2,257,247株	7.32%
金融機関	3,248,400株	10.54%

(注)自己株式93,424株は上記のグラフ中の株式数に含まれていません。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	132億134万6,010円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード: 6890)
決算期	3月31日
従業員数	185名

事業所

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階
千葉工場	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4
会津工場	〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53

役員 (平成25年6月27日現在)

取締役	
代表取締役社長	山村 章
代表取締役副社長	山村 丈
代表取締役副社長	賀 賢 漢
取締役	小松 輝 寿
社外取締役	島田 忠 男
社外取締役	片山 茂 雄
社外取締役	中村 久 三
監査役	
常勤社外監査役	宮田 賢 一
社外監査役	井上 朗
社外監査役	福森 久 美

グローバルネットワーク

国内	海外
株式会社フェローテックセラミックス(東京)	北京和源豪迈精密工具有限公司(中国北京市) 香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港) 台湾飛羅得股份有限公司(台湾) Ferrotec Korea Corporation(韓国) FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE LTD(シンガポール) Ferrotec (USA) Corporation(アメリカ) Ferrotec GmbH(ドイツ) Ferrotec Ltd.(イギリス) Ferrotec S.A.(スペイン) Ferrotec S.R.L.(イタリア) Ferrotec SARL(フランス) Ferrotec Nord Corporation(ロシア)
杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市) 杭州和源精密工具有限公司(中国杭州市) 杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市) 杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市) 上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市) 上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市) 上海漢虹國際貿易有限公司(中国上海市) 寧夏銀和新能源科技有限公司(中国銀川市) 寧夏富樂德石英材料有限公司(中国銀川市) 富樂德科技發展(天津)有限公司(中国天津市)	

■ フェローテックグループ会社のご紹介

Ferrotec (USA) Corporation

フェローテックは1987年、当時の親会社である米国フェローフルイディクス社からマネジメントバイアウトにより独立しました。そして12年後の1999年、逆に同社を100%子会社として傘下に収め、これが現在のFerrotec(USA) Corporation(フェローテックUSA)となりました。

北米市場におけるマーケティングから販売まで 真空蒸着装置を扱うTemescal事業も展開

フェローテックUSAは、主に北米市場向けに半導体製造装置用真空シールやオーディオ用磁性流体、セラミックス製品、石英製品などを販売しています。また、フェローテック製品の北米市場におけるマーケティング拠点としての機能も果たしています。

さらに2010年には、英国のEdwards Vacuum Inc.からTemescal事業(真空蒸着装置関連事業)を譲受。LED用サファイア基板に金属や酸化物を成膜する真空蒸着装置およびコンポーネントを販売しています。



フェローテックUSA

会社概要

商号	Ferrotec (USA) Corporation
所在地	アメリカ・ニューハンプシャー州
設立	1968年
資本金	36,672,000米ドル
従業員数	155名